

2024

夏のボランティアチャレンジ

Newspaper

No.3

～野田ボランティア部“ふれあい喫茶”でのボランティア体験の様子を取材！～

毎週たくさんの方で賑わうふれあい喫茶♪



ほんでなあ～

それがな～



笑顔で出迎えてくれる野田ボランティア部の皆さん♪

学生さんにとって“将来につながる経験”

野田校区福祉委員会に所属している野田ボランティア部は、地域の方々が楽しく生きがいのある生活ができるよう1999年に活動をスタートしました。活動の1つである“ふれあい喫茶”は、地域住民のつながり・出会いの場として毎週金曜日10時から南野田地域会館でコーヒーとお菓子が100円で振る舞われます。取材当日は約40人の地域住民が集い、笑い声が絶えません。

代表の上野さんは、活動の魅力を「知らない人との出会いで輪が広がっていくこと。」と語られ、さらに「来てくれる皆さんからは開催回数を増やしてほしいという要望もある。」と大変喜んでおられました。

喫茶終了後のスタッフミーティングでは「ボランティア活動は無理なく続けていくもの。」と、スタッフの負担にならないように活動時間や役割分担について話し合われていたことが印象的でした。

昨年に引き続き今年も夏のボランティアチャレンジ（当事業）に協力した理由については、「学生さんが来てくれることでメンバーの刺激になる」「学生さんにとっても将来につながる経験になればと思う」と話してくださり、当事業を積極的に活用していただいていることを大変嬉しく思いました。

ボランティア体験者の“声”

「自分が人前で目立つよりも裏方で誰かを支える方が好きなんだと思います」と控えめに語るプール学院高等学校に通う西村さん。ボランティアサークルに所属しているため、日頃から近隣幼稚園でハンドベルの演奏や障害者のパン販売のサポート、東日本大震災被災地への募金活動など、ボランティア活動の経験が豊富です。

そんな西村さんは、今回のボランティアでは普段接点の少ない高齢の方との交流を求めてふれあい喫茶に参加したそうです。「最初は緊張もありましたが、コーヒーやお菓子を配膳するなかで、来てくれた地域住民の皆さんが“がんばってね”“ありがとう”と優しく声をかけてくださったので、とても楽しく過ごせました。」と語ってくれました。

将来については、「まだ決まっていないけど、今だからこそできる経験をたくさんしたいと思っています。次は子ども食堂や学童でボランティアをしてみたいと思っています。」とに着実に取り組む姿勢はとても輝いていました。



誰でもできる地域ボランティア

代表の上野さん♪



いつでも来てください♪

野田ボランティア部では、ふれあい喫茶活動の他にも高齢者施設で地域住民を招いた食事会や高齢者向けの“ずぼら体操”、子育て支援“でんでん虫キッズ”等々、地域で様々な活動をしています。関心のある方はぜひ足を運んでみてください。今後も学生さんだけでなく、幅広い年代の方を募集しています！

【問合せ先】

野田ボランティア部代表 上野：090-3716-2820

編集後記

隣の方の声が聞こえないくらい大賑わいです！
地域の方々の活気にこちらが元気をもらえるボランティア活動先です。